



Wyse Thin OS 6.5.0 Build 30 Japanese for S10, V10L, V10L Dual DVI

対象製品: S10, V10L, V10L Dual DVI, V10LE ^注

S10 用ファームウェア: RCA_wnos.jp

V10L/V10L Dual DVI/V10LE 用ファームウェア: VL10_wnos.jp

リリース: マイナーバージョンリリース

注意: 新ハードウェアモデル V10LE は、2010 年 4 月にリリース予定です。

ReadMe の履歴:

Version	日付	変更内容
1.00	2010 年 2 月	初版

Version 6.5.0 Build 30 における新機能:

本リリースにおける追加機能を下記に示します。

1. WTOS ローカル機能強化

WTOS 6.5 では、管理機能、ローカル機能など、シンクライアントシステム管理とユーザー操作性を向上させる機能が追加されました。下記にそれぞれの機能を記します。

管理機能:

■ 設定 INI ファイルのローカルキャッシュ機能

FTP サーバー上で設定された設定 INI ファイルを WTOS 端末上に保存することが可能となりました。これにより、FTP サーバーへのネットワークアクセスができない場合でも、ローカルキャッシュされた設定 INI ファイル情報からの設定情報を読み出すことが可能となります。

■ 設定 INI ファイルの参照機能(INI ファイルビューア)

WTOS のローカル INI ファイルビューアにより、現在動作している WTOS 端末の設定 INI ファイル情報を参照することが可能となりました。

■ ファームウェアバイナリ名の指定

FTP サーバー上に配置するアップデートファームウェアのファイル名を、設定 INI ファイル内で指定することが可能となりました。これにより、一律のファイル名ではなく、システム環境個々での分かり易いファイル名での管理が可能となります。

■ ファームウェアサイズの削減(V10L)

ファームウェアバイナリデータに新しい圧縮技術を採用し、V10L 用ファームウェアバイナリデータの約 50%以上の削減を実施しました。従来のファームウェアサイズは、約 8MB 程度でしたが、WTOS6.5 では、約 3MB のファームウェアサイズとなります。これにより、ファームウェアアップデート時のネットワークトラフィックを半減することができます。

■ イベントログ取得ツールの強化

イベントログ等の WTOS ローカル情報をローカル USB デバイスに保存する機能が追加されました。これにより、WTOS ローカル上のログ情報などを移動し、他のデバイスなどに保存することが可能となります。問題発生時など、トラブルシューティングに役立てることが可能となります。

ローカル機能:

■ WTOS ローカル UI の刷新

WTOS ローカルデスクトップ、使用アイコン等のデザインを全面的に刷新いたしました。より分かり易い直観的なアイコンに統一することで、ユーザーの利用効率を高めました。

■ Generic USB Audio ドライバの搭載

WTOS ローカルに Generic USB Audio ドライバが搭載されました。これにより、一般的な USB オーディオドライバが搭載されている機器(USB ヘッドセット等)が、WTOS ローカルで認識されるようになります。

注意: USB オーディオ機器に関しては、「周辺機器とその他ハードウェア」のセクションより、Wyse 社での検証済みデバイスリストをご参照ください。

■ 無線 LAN ローミング機能

WTOS で利用する無線 LAN 機能に対して、感度の調整をファームウェア側で実施可能とします。電波環境の状況に応じて、WTOS 側で最適な無線 LAN 通信の状態を調整することが可能となります。

RDP 6.1 機能強化:

■ Windows 7 のデュアルモニタ機能サポート

Windows 7 への RDP 接続時、デュアルモニタを利用することが可能となりました。

■ RDP 再接続時のシームレス認証機能

RDP 再接続時にユーザー名/パスワードを再度入力することなく、再接続を実行することが可能となりました。

2. Wyse ソフトウェア製品との連携強化

Wyse ソフトウェア製品(TCX, VDA 等)との連携強化を実施しました。各ソフトウェアの最新バージョンへの対応を実施いたしました。下記に対応実施内容を記します。

Wyse TCX ソフトウェア

■ Wyse TCX Suite 4.0 への対応

Wyse TCX 最新バージョンである Wyse TCX Suite 4.0 への完全な対応を実施いたしました。下記 Wyse TCX Suite 4.0 コンポーネントへ対応をいたします(2010 年 4 月リリース予定)。

- TCX Multimedia
- TCX USB Virtualizer
- TCX Rich Sound
- TCX Multi Display
- TCX Flash Acceleration

■ Wyse VDA 1.1 への対応

Wyse VDA (Virtual Desktop Accelerator)の最新バージョンである Wyse VDA 1.1 への完全な対応を実施いたしました(2010 年 4 月リリース予定)。

3. 仮想デスクトップシステムの機能強化

VMWare View, Citrix XenDesktop 等の仮想化システムへの対応強化を実施しました。下記に追加された機能に関して記します。

VMWare View 機能強化

■ Security Server による SSL 通信

VMWare View, Security Server を利用した SSL 通信に対応をいたしました。これにより、RDP 経由での仮想デスクトップアクセスにおいて、SSL を利用した安全な接続を実現することが可能となります。

■ RSA SecureID 機能

VMWare View でサポートされている RSA SecureID ワンタイムパスワード認証に対応いたしました。これにより、RSA SecureID を利用した仮想デスクトップへのログオンが可能となります。

Citrix XenDesktop 機能強化

■ 仮想デスクトップ再起動機能

WTOS ローカルデスクトップから XenDesktop 環境で利用している仮想デスクトップの再起動を実施する機能を追加しました。

■ Branch Repeater サポート

Citrix Branch Repeater による ICA アクセラレーション機能をサポートいたしました。Citrix XenDesktop/XenApp 環境において、Branch Repeater を介した高速な ICA 接続が可能となりました。

■ ICA 表示機能の向上

WTOS に実装されている ICA クライアントの最適化を実施し、XenDesktop 接続時の画面転送による表示パフォーマンスの向上を実施いたしました。

Version 6.5.0 Build 30 における追加機能:

1. VMWare View 環境下において、RDP 接続ポートを変更した接続が可能となりました。(CIR45403)
2. Windows Server 2008 におけるセキュリティサポートプロバイダ (CredSSP) による認証に対応しました。Session Broker 利用時に異なるターミナルサービスに接続した場合でも二回の認証情報入力が不要となります。(CIR45554)
3. PNAgent のローミング機能を利用する際に、セッション切断モードが追加されました。(44436)
4. LanguageBar パラメータにおいて、Language= の最初のパラメータがデフォルトのキーボード設定となりました。(CIR44903)
5. VDA サービスポートの停止を wnos.ini 内パラメータで設定することが可能となりました。(CIR44510)
6. Citrix XenDesktop 環境において、仮想デスクトップの画面更新が正常に動作しない場合があります。(CIR45080)
7. DeskColor パラメータ設定状態を WTOS 端末のローカルに保存できるようになりました。(CIR45646)

8. Aladdin eToken Pro Card OS V4.2 の拡張サポート。(CIR45474)
9. ActivIdentity Commercial V2 Applet の拡張サポート。(CIR46773)
10. RDP セッション経由でシステムビープ音が効かない。(CIR48815)

新規に追加/変更された INI ファイルパラメータ(WNOS.INI):

本リリースにおける追加/変更された設定 INI ファイルパラメータに関して、下記表に示します。

表. WTOS 6.5.0.30 で追加/変更された INI ファイル設定パラメータ

<p>EnableCacheIni= {yes, no}</p>	<p>設定 INI ファイルを WTOS 端末のローカル Flash ロムに保存するローカルキャッシュ機能</p> <p>Yes と設定した場合、FTP サーバー上に配置されている WNOS.INI ファイルを WTOS ローカル端末上の Flash ロムに保存します。次回 WTOS 起動時に、FTP サーバー上の WNOS.INI ファイルを何らかの理由で取得できなかった場合、ローカルに保存されている WNOS.INI ファイル(キャッシュ)の情報を元に WTOS 端末を起動します。</p> <p>No と設定した場合、WNOS.INI ファイルのローカルキャッシュ機能を停止します。</p>
<p>PlatformConfig="C/V/S Class" [Firmware={Firmware filename}] [BIOS={BIOS filename}]</p>	<p>アップデート用ファームウェアのバイナリ名を指定する機能</p> <p>PlatformConfig: WTOS 端末のハードウェアプラットフォームを指定します(S Class、V Class 等)。</p> <p>Firmware: アップデート用のファームウェアバイナリ名を指定します。WTOS 端末は、この名前を見て、FTP サーバー上のアップデート用ファームウェアを探索します。</p> <p>注意: 本パラメータで指定したファームウェアが存在しない場合、デフォルトのファームウェア名(例: S Class の場合、RCA_wnos.jp)を FTP サーバー上に探索し、アップデート処理を進めます。</p> <p>BIOS: BIOS アップデート用の BIOS データバイナリ名を指定します。</p>

<p>Device=wireless ¥</p> <p>Roamsensitive={high medium low} ¥</p> <p>ScanChannel={Standard}</p>	<p>無線 LAN の感度調整を実施する機能</p> <p>RoamSensitive: 無線 LAN の感度レベルを調整します。本機能を設定すると、WTOS 内部で無線 LAN ローミング用のプロセス(デーモン)が起動され感度の調整を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ High: 60dBm 以下のシグナル ■ Medium: 70dBm 以下のシグナル ■ Low: 80dBm 以下のシグナル <p>本パラメータを設定していない場合、無線シグナルを完全に失わない限り、無線 LAN のローミングを実行しません。</p> <p>ScanChannel: 無線 LAN ローミングが発生した際に、どのチャンネルをスキャンするかを設定します。Standard と設定した場合、WTOS は、1, 6, 11 のスタンダードチャンネルのみをスキャンします。本設定が実施されていない場合、スタンダード以外のすべてのチャンネル(例: 2, 3, 5 など)をスキャンします。</p>
<p>MaxVNCD={yes, no}</p>	<p>VNC シャドー機能の設定</p> <p>Yes と設定した場合、VNC のシャドー機能が有効となります。VNC のシャドーは、1 VNC クライアントセッションが許可されます。</p> <p>No と設定した場合、VNC のシャドー機能を停止します。</p>
<p>DESKTOP=<i>bitmap file</i> ¥</p> <p>[Layout={tile, center, stretch}</p>	<p>WTOS ローカルデスクトップの壁紙背景設定</p> <p>本設定パラメータを指定しない場合のデフォルトの背景は、WYSE のデフォルト壁紙が指定されています。背景設定を無効に設定したい場合、"Desktop="の様に、設定値に何も指定しない様にします。</p> <p><i>Bitmap file</i>: ローカルデスクトップで表示するための背景ファイルを指定します。背景ファイルは、FTP サーバーの bitmap フォルダに配置します(例: FTPRoot¥WNOS¥Bitmap)。ファイル名の最大文字数は、拡張子を含め 63 文字(Single Byte)です。利用可能なファイルは、4, 8, 24bit の BMP ファイル、マイクロソフト ICON ファイル、スタンダード GIF ファイル、スタンダード JPEG ファイルです。</p> <p>Layout: ローカルデスクトップの背景に表示するビットマップファイルの表示レイアウトを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Tile: ファイルの表示サイズはオリジナルの状態、複数タイル状に連続してデスクトップ上に表示されます。 ■ Center: ファイルの表示サイズは、オリジナルの状態、1枚のみデスクトップの中央に表示されます。 ■ Stretch: ファイルサイズを拡張・縮小して、ローカルデスクトップの解像度に合わせて全体に表示されます。 <p>注意: デュアルモニタ利用時には、上記設定は、個別のモニタに対して設定が反映されます。このため、二画面を一つの解像度としてビットマップファイルが表示されることはありません。</p>

Service={snmpd, thinprint, vncd, wdm, vda, <port number>} ¥ disable={yes, no}	WTOS のローカルサービスの停止機能 WTOS で動作する個々のサービス機能を停止することができます。新しく VDA のサービスを指定して停止する機能が追加されました。
SessionConfig パラメータ用 OffScreen={no, yes}	オフスクリーンのサポート(全 ICA 設定用) Yes の場合、セッションのオフスクリーン機能を有効にします。No の場合、セッションのオフスクリーン機能を停止します。
Sessionconfig=ICA ¥ ProgressiveDisplay={yes, no}	プログレッシブ表示機能設定(全 ICA 設定用) SessionConfig パラメータにより、WTOS 上の全ての ICA セッションに対してプログレッシブ表示の有効・無効の設定を実施することができます。 Yes の場合、プログレッシブ表示の機能を有効にします。No の場合、プログレッシブ表示の機能を停止します。
Privilege=[None, Low, High] ¥ SuppressTaskBar={yes, no, auto}	WTOS ローカルタスクバーを隠す機能 Yes の場合、タスクバーを常に隠します。No の場合、タスクバーを常に表示します。Auto の場合、タスクバーのエリアからカーソルを離れた場合、タスクバーが自動的に隠れます。
SaveSysinfo={usb, ftp}	WTOS システムイベントログ情報の保存機能 Usb: システムイベントログ情報を WTOS 端末のローカルに挿入された USB ストレージメモリに保存します。 Ftp: システムイベントログ情報を FTP サーバー上に保存します。FTP サーバーは、WTOS で設定されている設定 INI ファイル用の FTP サーバーとなります。 注意: WTOS 端末に最後に挿入された USB ストレージメモリが情報の保存先となります。また、保存先ディレクトリは、USB ストレージメモリ、FTP サーバーのルートディレクトリとなります。保存されるファイル名は、「WTOS_log.txt」となります。
DeleCertificate=builtin	WTOS ローカル保存されている証明書の削除機能 Builtin: WTOS にデフォルトでインストールされているビルトインの証明書をメモリ上から削除します。
SessionConfig=ICA BranchRepeater={yes, no}	Citrix Branch Repeater 設定機能(全 ICA 設定用) Yes の場合、Branch Repeater 機能と Reducer V3 機能を有効にします。No の場合、本機能を無効にします。
Connect=ICA 用パラメータ BranchRepeater={yes, no}	Citrix Branch Repeater 設定機能(個別 ICA 設定用) Yes の場合、Branch Repeater 機能と Reducer V3 機能を有効にします。No の場合、本機能を無効にします。

Version 6.5.0 Build 30における修正内容:

本リリースにおける修正内容を下記に示します。

1. VMWare View 経由で、Windows Vista SP1 上の Google Maps を利用した場合、RDP セッションが切断される場合があります。(CIR45722)
2. V10L 端末から Windows Server 2008 Enterprise Edition のデスクトップアクセスを実施した場合、特定の Flash 動画を再生すると端末がシャットダウンすることがあります。(CIR45313)
3. 特定顧客のアプリケーションにおいて、カスタム表示テキストの表示ができない場合があります。(CIR45572)
4. スマートカード挿入時に、スクリーンセーバーが正常に動作しない場合があります。(CIR40049)
5. ICA セッションにおいて、特定の Flash 動画を再生した場合、セッションが切断されることがあります。(CIR45930)
6. V10L 端末から Windows Server 2008 R2 への接続を実施した場合、音声再生に問題が発生する場合があります。(CIR45989)
7. VMWare View 3 上で設定するセッションタイムアウトが正常に動作しませんでした。(CIR46299)
8. Microsoft PowerPoint の特定ページの表示で、パフォーマンスが低下することがあります。(CIR46332)
9. TCX USB を利用してリダイレクトされた USB 音声デバイスを利用した場合、WTOS がハングする問題がありました。(CIR46480)
10. Citrix XenDesktop において、V10L ローカル音声ボリュームと仮想デスクトップの音声ボリュームが正常に同期しない場合があります。(CIR46495)
11. スマートカードリーダー付随のキーボードにおいて、WTOS の動作が不安定になることがありました。(CIR47252)

12. WTOS ローカルの日時が正常に設定されない場合があります。(CIR48746/CIR48750)
13. VMWare View 3.1.1 の環境において、USB メモリキーストレージが正常に動作しない場合があります。(CIR47419)
14. 特定の KVM スイッチで、マウスパフォーマンスが遅くなる場合があります。(CIR47840)
15. Citrix ICA 公開アプリケーション起動時に、再度アイコンをクリックすると WTOS がハングする場合があります。(CIR48180)
16. Citrix XenDesktop ログオン時に、ログオン画面の配色が緑/紫色に変化することがあります。(CIR47495)
17. 旧 Hotfix モジュール HRP2 が適用されている Citrix XenApp 4.5 の XML 認証サービスに対して、WTOS からの接続に失敗しました。(CIR47650)
18. S10 端末において、LPD プリンタのローカル設定が保存されない場合がありました。(CIR47773)
19. VMWare View 3.1 環境において、コネクションブローカー経由での接続で表示上の問題が発生する場合があります。(CIR45518)
20. Citrix XenApp 4.5 HRP4 以上の環境において、ICA セッション内の特定の Java アプリケーションにおいて、表示の問題がありました。(CIR47522)
21. Citrix Presentation Server 4.0 HRP03 において、ICA セッションをログオフした際に、セッション切断状態で残る場合があります。(TIR47244)
22. キーボードレイアウトを「フランス語(カナダ)」に設定すると、仮想デスクトップ上で誤ったキーボード設定が実施されました。(TIR47542)
23. タッチスクリーンモニターを利用中に、WTOS が Trap エラーで停止することがあります。(TIR48371)
24. XenDesktop 接続環境において、ICA セッション内でリダイレクトされた USB ストレージ上でデータコピーに失敗する場合があります。(TIR48460)

25. XenApp サーバーの公開アプリケーション名において、中国語表記が正常にできない場合があります。(TIR48704)
26. WEP モード利用時、DHCP サーバーの検索状態が継続され、IP アドレスが取得できない場合があります。(TIR47362)
27. 特定の DVD ドライブを利用時、断続的にデータのコピーを継続していた場合、WTOS が Trap エラーで終了することがあります。(TIR48684)

Version 6.4.0 Build 30におけるサポートシステム環境:

Wyse 社では、下記のシステム環境において、WTOS 6.4.0 Build 30 のテストを完了しております。

1. Citrix Presentation Server 4.0/4.5, Windows Server 2003
2. Citrix XenApp 5.0, Windows Server 2003/2008
3. Citrix XenDesktop 3.0, 4.0
4. VMWare View 3.0, 3.1, 4.0
5. ターミナルサービス, Windows 2003/2008
6. リモートデスクトップ接続, Windows XP/Vista, Windows 7
7. LeoStream Build 5.1.15

注意: お客様運用環境において、利用するアプリケーション、ネットワーク、ホストシステム等の組み合わせや、サポートされていない機能などにより、動作しない機能が存在する場合があります。Wyse ThinOS、ホストシステムを含めて、運用時に利用する各種機能においては、必ず運用環境を想定した十分な検証が必要となります。

ビルド(S10)の詳細:

表 1 にファームウェアデータの情報、表 2 に BIOS 詳細情報、表 3,4 にハードウェアスペックの情報を記載します。

表 1. S10 ファームウェアバイナリデータの詳細情報

Platform(s)	S10
Version	6.5.0
Build number	30
Build File Name	RCA_wnos.jp
Size(Bytes)	3,114,080
MD5 Checksum	36D33C2458DD0CAC52903DC8506B4057
Localization	Japanese

表 2. BIOS 詳細情報

Platform(s)	S10
Version	1.16
Build File Name	Xpress.rom
Size(Bytes)	262,144
MD5 Check sum	31D2C9317FD76660841A1618D70E88A7
Checksum32	16C0FD3

表 3. 対応ハードウェアスペック (非 RoHS プラットフォーム)

System version	6.5.0_30
CPU	AMD Geode GX 466
ROM (NOR)サイズ	256KB
ROM (NAND) サイズ	32MB
RAM サイズ	64MB/128MB

表 4. 対応ハードウェアスペック (RoHS 版)

System version	6.5.0_30
CPU	AMD Geode GX 500
ROM (NOR)サイズ	2MB
ROM (NAND) サイズ	0MB
RAM サイズ	128MB

注意: 現在出荷の Wyse S10 は、全て RoHS 版となります。非 RoHS 版の製品は、2007 年 5 月 18 日に販売が終了しております。

ビルド(V10L, V10LE)の詳細:

表 5 にファームウェアデータの情報、表 6 に BIOS 詳細情報、表 7,8,9 にハードウェアスペックの情報を記載します。

表 5. V10L ファームウェアバイナリデータの詳細情報

Platform(s)	V10L, V10L Dual DVI, V10LE
Version	6.5.0
Build number	30
Build File Name	VL10_wnos.jp
Size(Bytes)	3,662,412
MD5 Checksum	C4A393F6005D39897307C239C8F6F444
Localization	Japanese
備考	V10L、V10LDual DVI、V10LE プラットフォームに対応しています。

表 6. BIOS 詳細情報

Platform(s)	V10L, V10L Dual DVI, V10LE
Version	1.19
Build File Name	60480119.bin
Size(Bytes)	524,288
MD5 Check sum	542143D791505EC406F727221C425F10
Checksum32	4E42900

表 7. 対応ハードウェアスペック (V10L)

System version	6.5.0_30
CPU	VIA Eden/Esther 800MHz (V10L)
ROM (NOR)サイズ	512KB
ROM (NAND) サイズ	128MB
RAM サイズ	128/256MB/512MB

注意: 現在出荷の Wyse V10L は、全て RoHS 版(Eden)となります。また、2008 年 10 月以降製造の V10L の RAM サイズは、256MB となります。2009 年 12 月移行製造の V10L の RAM サイズは、512MB となります。

表 8. 対応ハードウェアスペック (V10L Dual DVI プラットフォーム)

System version	6.5.0_30
CPU	VIA Eden 800MHz
ROM (NOR)サイズ	512KB
ROM (NAND) サイズ	128MB
RAM サイズ	256MB

注意: Wyse V10L Dual DVI (DVI 端子を二つ標準搭載するモデル)は、現在 2009 年 1 月リリース。

表 9. 対応ハードウェアスペック (V10LE プラットフォーム)

System version	6.5.0_30
CPU	VIA Eden 1.2GHz
ROM (NOR)サイズ	512KB
ROM (NAND) サイズ	128MB
RAM サイズ	512MB

RCA_wnos.jp/VL10_wnos.jp の内容:

FTP サーバーからのアップデート用バイナリデータ。FTP サーバーを通して、Wyse シンクライアント 端末起動時に、ファームウェアイメージをアップロードするためのファイルです。

S10 用ファームウェアファイル: RCA_wnos.jp

V10L/V10L Dual DVI/V10LE 用ファームウェアファイル: VL10_wnos.jp

WDM (Wyse Device Manager):

本ファームウェア(ビルド)は、下記の WDM 製品(バージョン)に対応しています。

Wyse Device Manager 4.7.0 Build 541 以降

WSI (Wyse Simple Imager):

本ファームウェア(ビルド)は、WSI 製品ではご利用いただけません。

周辺機器とその他ハードウェア:

下記に Wyse 社でテストされた周辺機器とハードウェアのリストを示します。

注意: 下記リストに表示されているハードウェアは、本バージョンのリリースに当たり、SQA プロセス上テストされたものとなります。この他一般的な周辺機器に関しては、下記サイトを参照ください。WTOS で利用するハードウェアデバイスに関しては、Wyse 社でのテスト環境においてテストされた結果を示しております。運用環境においては、利用するアプリケーション、ネットワーク、ホストシステム等の理由により期待される効果が出ない場合があります。WTOS で利用する周辺機器に関しては、必ず運用環境を想定した十分な検証が必要となります。

Wyse Certified Peripherals

<http://www.wyse.com/products/hardware/peripherals/index.asp>

表 10. WTOS 6.5.0.30 における Wyse 社テスト結果

周辺機器	モデル (P/N)	WTOS でのテスト結果
カテゴリ: 外部ストレージデバイス関連		
USB メモリー		
Memorex TravelDrive (1 GB)	32509060	Pass
Memorex TravelDrive (2 GB)	32509070	Pass
SanDisk Cruzer Micro (1 GB)	SDCZ6-1024-A10	Pass
Kingston DataTraveler Mini Fun (1 GB)	DTMFY/1GB	Pass
Transcend 1 GB		Pass
Kingston DataTraveler 2 GB		Pass
Lexar 4 GB		Pass
Aigo UF-F237 2 GB		Pass

UNIS 1GB		Pass
Lenovo 4 GB		Pass
SanDisk Curzer Micro USB 2.0 Flash Drive 2G		Pass
USB ハブ		
EDO usb hub		Pass
I ball USB hub	012982172	Pass
Linksys Compact USB 4-port hub		Pass
Wyse 4 port hub		Pass
USB SD カード		
Sandisk MicroSD card 2G		Pass
Transcend mini SD 4 GB		Pass
Kinston SD card 4G		Pass
USB ハードディスク		
Maxtor Basics External Portable Hard Drive 250G		Pass
Techmatrix 80G		Pass
USB Earphone		
Microsoft LifeChat LX-300 USB earphone		Pass
Logitech USB Handsets		Pass
Logitech USB Wireless Handsets		Pass
カテゴリ: プリンタ		
レーザープリンタ		
HP LaserJet 1015 series printer	Q2462A	Pass
Lexmark T644	792X9V5	Pass
HP Laser Jet P2015	CB366A	Pass
HP Laser Jet P2035	CE461A	Pass
HP Laser Jet P2055D		Pass
HP LaserJet CM 1312 MFP		Pass
Xerox DPC1110		Pass
Epson LQ_20K		Pass
HP LaserJet 6L		Pass
OKIPOS® 425D Series Dual-Roll Multi-Task		Pass

Xerox Phaser 6130 (ローカルプリンタとして検証)	HAT044231E/ 100S12604	Pass
HP DeskJet 2430	CA-0549	Pass
カテゴリ: ワイヤレスネットワーク		
無線 LAN デバイス		
Linksys AP WRT300N V1	S/N- 1FC20291	Pass
Linksys WAP4410N	S/N-ASK07J501497	
Cisco Aironet 1231G-E-K9	S/N FHK0750J6EA	Pass
Wyse VT6656 USB 802.12 b/g Wireless LAN Network Adapter	920300-51L	Pass
デバイス: 入出カデバイス		
モニタ		
ACE Acer LCD AL2416W B	ET.F16WP.B02	Pass
NEC MultiSync LCD 1770 NX	S/N- 74000059TA	Pass
ViewSonic VA1703WB	S/N- QFK072707572	Pass
Gvision Touch Screen (シリアルケーブルでの確認)	P19BH-AE-459G	Pass
Dell 1905FP	T6127	Pass
Dell E178Fpc	P-612/916-241	Pass
ELO intuitive (Touch Screen)	E993101	Pass
HP L1908w	HSTND-2351-F	Pass
NEC LCD	2170NX	Pass
DELL LCD	2408WFPb	Pass
Dell 1909W		Pass
HP 1901W		Pass
SAMSUNG SyncMaster T220+		Pass
Philip 240PW9 (1920x1200)		Pass
BenQ G2410 Series LCD (1920x1200)		Pass
ViewSonic VX2433wm (1920x1080)		Pass
Acer V233Hbd (1920x1080)		Pass
Dell UltraSharp 2209WA (1680x1050)		Pass
MicroTouch 3M		Pass
PLANAR PT1500MU		Pass
BenQ FP71G		Pass
Dell 1704FPT		Pass

Dell E178Fpc		Pass
キーボード		
Microsoft Natural Keyboard Elite	X05-29403	Pass
Wyse Keyboard PS/2		Pass
Wyse USB keyboard		Pass
Logitech keyboard	820-000368	Pass
Adesso keyboard	S/N-K7050050	Pass
Cherry keyboard	G83-61051RNFR-2/05	Pass
Microsoft Natural keyboard		Pass
BloomBerry keyboard		Pass
Logitech keyboard 100		Pass
マウス		
Wyse USB Mouse		Pass
Wyse PS/2 Mouse		Pass
Microsoft Basic Optical Mouse	X800598	Pass
Optical Wireless – Kingston mouse	S/N-C0729B006530	Pass
Microsoft Basic Optical Mouse		Pass
バーコードリーダー		
SCANTEAM 8310 MICR	8310-22-BAXR	Pass
SYMETRY Barcode Reader	S/N U4108206	Pass
カテゴリ: スマートカード		
カードリーダー		
ActivCard Smart Card Reader	ActivIdentity USB Reader	Pass
Omnikey Smart Card Reader	CardMan 3121	Pass
Cherry Smart Card Keyboard	RS 6700 USB	Pass
SCM Microsystems Smart Card Reader	SCR 335	Pass
Smart Card Reader	SCR 3310	Pass
Gemalto PC Twin USB Reader	HWP108765	Pass
CommonZbank Reader V1		Pass
GMPC twin reader		Pass
SmartOn reader	ACS ACR122 注:SmartOn ID 利用時	Pass
Renault's smartcard reader		Pass
HP smart Card Terminal Keyboard		Pass

スマートカード/トークン		
Etoken PRO 72K JAVA Smartcard		Pass
Etoken PRO 64K Smartcard		Pass
Etoken 72K USB Smartcard		Pass
JCOP41 Card		Pass
Gemalto Cyberflex 32k eGate		Pass
Gemalto Cyberflex 64K V2+		Pass
Gemalto.net card		Pass
Axalto CyberFlex 32k V2c		Pass
NHS card		Pass
SmartOn card	Felica Type 注:SmartOn ID 利用時	Pass
その他		
MCT USB-to-Parallel converter USB-1284 Printer Adapter		Pass
MCT USB-to-Serial converter U232-P9		Pass

Version 6.5.0 Build 30における仕様変更:

1. デフォルトのデスクトップ色が 16bit となりました。従来(バージョン 6.4 以前)は、デフォルトのデスクトップ色は、15bit を採用しておりました。下記 WNOS.INI ファイルの設定により、従来の設定に変更することができます。

DesktopColorDepth=16 RGB565=no

2. MPEG2コーデック(互換性維持のためWTOS6.4では暫定的にコード上残されていましたが)、WTOS6.5 上から完全削除されました。MPEG2 コーデックを利用した動画処理を、TCX Multimedia により再生する場合、サーバー側にコーデックのインストールが必要となります。TCX Multimedia は、サーバー上のコーデックを利用して動画処理をトランスコーディング処理(変換)して、動画再生を早くします。WTOS 上のコーデックを利用した再生処理(リダイレクション)では無いため、サーバー上の CPU リソースを利用します。

3. WTOS 6.5 上でサポートされるソフトウェアコーデックは、下記のコーデックとなります。
 - MPEG1
 - MPEG4 v2
 - MPEG4 v3
 - WMV
 - WMA
 - MP3

4. LAN ケーブルの抜け(イーサネットリンク切れ)が検知された際、イーサネットリンク切れを知らせるダイアログ表示のタイマーが8秒となりました(WTOS6.4の本タイマーは、5秒でした)。WTOS のイーサネットリンクが切れたことを検知してから、8 秒間リンクが戻らない場合、リンク切れを知らせるダイアログが表示されます。

5. LAN ケーブルの抜け(イーサネットリンク切れ)が検知された際のイーサネットリンク切れを知らせるダイアログの表示方法が変更されました。WTOS がイーサネットリンク切れを検知し、タイマー(8 秒以内)が動作している最中にイーサネットのリンクが戻る(リンクアップ状態)と、イーサネットリンク切れを知らせるダイアログは表示されず、自動的にサーバーへのセッションが復帰します。WTOS6.4 以前では、イーサネットリンク切れを検知すると、タイムアウト後(5 秒後)、必ずイーサネットリンク切れを知らせるダイアログが表示されていました。

6. 802.1x 認証のネットワーク接続を実施している端末において、802.1x 認証を利用しないネットワークに移動した場合、「接続に失敗しました」というダイアログを表示しない様に変更しました。WTOS 6.4 の際は、「接続に失敗しました」というダイアログ処理を経由して、再度 802.1x 認証を利用しないネットワークへの接続を試みる必要がありました。

7. Windows Active Directory 認証を必要とするログオン処理において、WTOS ローカルダイアログ上で入力するパスワードの制限値が 19 文字から 32 文字に変更されました。

8. WTOS 上の接続セッション色を High Color とした場合の WTOS スクリーンセーバー処理時の自動再接続方法が変更されました。サーバーへの接続色を High Color と選択し、セッションの自動再接続を設定している場合、WTOS ローカルのスクリーンセーバーが起動している最中は、セッションの自動再接続処理を実行しなくなりました。自動再接続は、スクリーンセーバー処理解除後に、実行されます。

9. WTOS にローカル接続された USB プリンタは、1 台のみ利用可能でした。WTOS 6.5 からは二台目の USB ローカルプリンタが利用可能となります。

既知問題/制限事項(サマリ):

1. XenDesktop 環境において、音声パフォーマンスが悪くなる場合があります。(TIR48938)
2. Windows Vista に RDP 接続した場合、Windows Media Player 上で MP3 再生時に 5 秒間止まる場合があります。(TIR48657)
3. イーサネットのリンク切れダイアログが表示された際、[キャンセル]ボタンを押下すると、TCX USB Virtualizer でリダイレクトされた USB が認識されなくなることがあります。(TIR48972)
4. シームレスモードで XenDesktop への接続に失敗します。(TIR48578)
5. eToken タイプの USB 認証デバイスで、Windows Server 2008 RDP 接続を実施した場合、ウィンドウをロックすることができない場合があります。(TIR48673)
6. V10L の無線 LAN 機能を利用している場合、新しい AP に移動した場合、XenApp への自動再接続に失敗する場合があります。(TIR47927)

WTOS 機能における補足説明

WTOS(Wyse Thin OS)で利用する製品機能に関して説明します。

1. USB ストレージリダイレクション機能について

Wyse Thin OS で提供される USB ストレージリダイレクションでは、下記のフォーマットがサポートされています。

サポートフォーマット

- FAT16
- FAT32

注意: NTFS やその他形式でフォーマットされた USB ストレージはサポートされていません。これらサポートされていない形式でフォーマットされた USB ストレージを利用しても RDP/ICA セッション内でリダイレクトされません。

USB ストレージリダイレクション機能において、現在サポートされる製品は、SCSI/ATAPI コマンドセットと Bulk-Only Transport の転送プロトコルを用いた転送方式を有する USB ストレージ製品となります。

注意: 現在、SCSI/ATAPI コマンドセットと Bulk-Only Transport プロトコルは、USB ストレージで利用される一般的な転送の仕組みなため、通常意識することはありません。ご利用される USB ストレージ製品の仕様に関して、ご不明な点がある場合、製造元へお問い合わせください。

2. WNOS.INI ファイルのコメント文内の日本語利用時の注意点

Wyse Thin OS を管理するための設定ファイル wnos.ini ファイルには、文字列“#”の後に、コメントを記述することが可能です。これにより、各パラメータの内容や意味をコメント行で補足説明することが可能となります。

注意事項:

WNOS.INI ファイル内のコメント行の仕様として、マルチバイト文字列(日本語文字列)を利用する場合、コメント行の末尾に半角スペースを入れる必要があります。

WNOS.INI ファイル内で記載される情報は、WTOS 上で読み取られる際、通常の ASCII コードで処理されます。この際、特定の ASCII コードを含む場合、WTOS 側ではコメント行をパラメータとして読み取ろうとするため、正常に wnos.ini ファイル内のパラメータが動作しない場合が発生します。WNOS.INI ファイル内のマルチバイト文字列のコメント行を正常に WTOS に通知するためには、コメント行の末尾に半角スペースを入力する必要があります。

3. VMWare View 接続設定

WTOS を用いて、VMWare View Connection Server を利用した仮想デスクトップ環境を構築する場合、下記の三通りのいずれかの方法が可能です。

■ WTOS ローカル上の設定

[スタート]メニュー→[システム設定]→[ネットワーク]より、「ネットワーク設定」ダイアログを開きます。「サーバー」タブにある、「VDI ブローカー」のテキストボックスに、View Connection Server の HTTP/S の URL を登録し、WTOS を再起動します。

■ DHCP オプション機能の利用

DHCP サーバー上の DHCP オプションタブ番号(コード)188 を作成し、データに View Connection Server の HTTP/S の URL を登録します。

■ WNOS.INI ファイルによる設定(ゼロコンフィグレーション)

WTOS 管理サーバー上で、WNOS.INI ファイルに下記のいずれかの設定を追記します (INI ファイル設定方法に関しては、スタートアップガイドを参照)。

1 台の View Connection Server からユーザーがログオンする方法

`VDIBroker="https://VDMConnectionServer URL/"`

複数の View ConnectionServer リストからユーザーが選択する方法

`SelectServerList = VDI;リスト名- "https://VDMConnectionServer URL/"`

注意: Connection Server で、1 ユーザーに 1 つの仮想デスクトップを設定している場合、WTOS からのログオン後、該当の仮想デスクトップが自動的に起動します。View Connection Server 上で 1 ユーザーに対して複数の仮想デスクトップが設定されている場合、デフォルトでは、WTOS ローカルデスクトップ上に複数の仮想デスクトップアイコンが表示され、自動的な仮想デスクトップへの接続は実施されません。1 ユーザーに対して複数の仮想デスクトップを設定し、特定の仮想デスクトップ接続をログオン後に自動起動したい場合、View Connection Server 上でデフォルトのデスクトップ設定を実行し、自動起動用の仮想デスクトップを設定します。

4. Citrix XenDesktop 接続設定

WTOS を用いて、Citrix XenDesktop, Desktop Delivery Controller を利用した仮想デスクトップ環境を構築する場合、下記の三通りのいずれかの方法が可能です。

■ WTOS ローカル上の設定

[スタート]メニュー→[システム設定]→[ネットワーク]より、「ネットワーク設定」ダイアログを開きます。「サーバー」タブにある、「PNAgent Lite サーバー」のテキストボックスに、Citrix Web Interface(Desktop Delivery Controller)サーバーの HTTP/S の URL もしくは、IP アドレスを登録し、WTOS を再起動します。

■ DHCP オプション機能の利用

DHCP サーバー上の DHCP オプションタブ番号(コード)181 を作成し、データに Web Interface (Citrix Desktop Delivery Controller)サーバーの HTTP/S の URL もしくは、IP アドレスを登録します。

■ WNOS.INI ファイルによる設定(ゼロコンフィグレーション)

WTOS 管理サーバー上で、WNOS.INI ファイルに下記のいずれかの設定を追記します (INI ファイル設定方法に関しては、スタートアップガイドを参照)。

1 台の Web Interface (DDC)からユーザーがログオンする方法

```
PNLiteServer= "https://Web Interface (DDC) URL" ¥
AutoConnectList=" Virtual Desktop Machine Name"
```

複数の Web Interface (DDC)リストからユーザーが選択する方法

```
SelectServerList = PNA; リスト名- "https://WebInterface URL/"
```

5. WTOS(V10L)の TCX Multimedia 機能の変更に関して

Wyse V10L 用 Wyse Thin OS 6.4.0 Build 06 から、TCX Multimedia/Citrix SpeedScreen 機能で利用するローカルコーデック MPEG1/MPEG2 が削除されます(V10L)。

■ 本機能の影響と注意点

MPEG1/MPEG2 フォーマットの動画ファイルを、TCX Multimedia を利用して再生する場合、マルチメディアのリダイレクションが実施されません。MPEG1/MPEG2 フォーマットの場合、動画処理が、ホスト上(サーバー)でトランスコーディング技術により動画高速化処理が実行されません。動画処理の向上は、トランスコーディング技術により提供されますが、サーバー/ホスト側にコーデックのインストールが必要となります。

EOF